

令和4年度 米子市埋蔵文化財センターの管理業務に関する事業報告書

米子市長 伊木 隆司 様

名 称 一般財団法人 米子市文化財団
 所 在 地 米子市末広町293
 代表者氏名 理事長 杉原 弘一郎



<p>管理業務の 実施状況</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 原始・古代の歴史を学ぶ機会の提供 <ol style="list-style-type: none"> (1) 米子市などの考古資料及び発掘調査の進め方などを展示し、原始・古代をはじめとした郷土の歴史への関心を高めた。 (2) 講座、講演会及び考古学教室の実施によって原始・古代への関心を高めた。 (3) 史跡のガイドウォークの実施により身近な郷土の歴史への関心を深めた。 (4) 見て・触れて・作る体験教室、出前講座などを通して、古代への興味・関心を深めるよう努めた。 2 埋蔵文化財資料の整理・保管・研究 <ol style="list-style-type: none"> (1) 米子市が所有する考古資料や記録類を適切に整理し収蔵保管した。 (2) 新着図書、寄贈図書を整理しデータ登録して貸出・閲覧に供した。 (3) 収蔵資料を貸出や研究利用に供し、資料の活用を図った。 (4) 未報告の収蔵資料を再整理し、調査研究に努めた。 (5) 県外の博物館、大学、研究機関等との調査研究の連携を図った。 3 情報の発信 <ol style="list-style-type: none"> (1) 事業のチラシを配布して広報に努めた。 (2) 施設のホームページで施設や行事の情報、遺跡紹介を行った。 (3) 「埋蔵文化財センターたより」を年4回発行し情報提供に努めた。 (4) 米子市などの発掘調査の最新情報を展示、発信した。 4 連携事業の促進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 鳥取県ミュージアムネットワークに加盟し、他館との連携を図った。 (2) 古代体験、学習の受け入れ等、学校と公民館の連携を図った。 (3) 山陰歴史館、上淀白鳳の丘展示館、米子市との連携を図った。 (4) 県外の博物館、大学、研究機関等との調査研究の連携を図った。 5 施設管理の充実 <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設周辺の除草、植栽の剪定、伐採、花壇整備を行い環境美化を図った。 (2) 換気扇取替、貯水槽修理、消火栓ポンプ修理など施設設備の修繕を図った。 6 施設管理業務 別紙1のとおり 7 事業の実施状況 別紙2のとおり
<p>施設の利用状況</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者へのサービスの向上 <ol style="list-style-type: none"> (1) 常設展示の入れ替えを随時行い、展示の充実を図った。 (2) 資料閲覧や写真等の資料、図書貸出を速やかに行い、利用者の利便を図った。 (3) アンケート箱を設置し利用者要望の把握に努めた。 2 施設の利用状況 別紙1のとおり
<p>収入実績</p>	<p>施設の事業収入 別紙3のとおり</p>

(1) 施設管理業務

月	施設	主な内容
4	センター館内	電気保安点検(中国電気保安協会)
	センター館外	外観点検
5	センター館内	
	センター館外	外観点検
6	センター館内	電気保安点検(中国電気保安協会) 展示室換気扇取替
	センター館外	
7	センター館内	トイレバルブ取替、落雷停電復旧工事、閲覧室エアコン取替
	センター館外	外構除草
8	センター館内	電気保安点検(中国電気保安協会)、水道水検査(鳥取県保健事業団)、貯水槽空気弁修理
	センター館外	外構草刈
9	センター館内	消防用設備保守点検、AED設置(米子市)
	センター館外	
10	センター館内	電気保安点検(中国電気保安協会)、消火栓ポンプ修理
	センター館外	キュービクル調査
11	センター館内	
	センター館外	外構除草
12	センター館内	電気保安点検(中国電気保安協会)、施設大掃除
	センター館外	
1	センター館内	
	センター館外	
2	センター館内	電気保安点検(中国電気保安協会)
	センター館外	
3	センター館内	消防用設備保守点検
	センター館外	外構草刈、貯水槽清掃
毎月	センター館内	日常清掃業務 夜間機械警備業務
	センター館外	日常清掃業務 夜間機械警備業務

(2) 施設の開館状況

埋蔵文化財センター 開館日数 245日 常設展入館者数 624人

事業名	開催・実施期間	参加者数(人)	内 容
鑑賞事業			
常設展			
「米子の遺跡と発掘調査」	通年	624	遺跡や出土品を通して米子の遺跡や発掘調査の理解を深める展示を行った。
「最新発掘成果速報展」	随時	-	発掘調査の情報を速報。
教育普及事業			
史跡ガイドウォーク			
フレイル予防事業 第1回「尾高城跡ガイドウォーク」	5/22(日)	27	尾高城跡の史跡ガイドウォークを実施。
フレイル予防事業 第2回 「手間要害跡ガイドウォーク」	9/25(日)	20	南部町手間要害跡の史跡ガイドウォークを実施。
フレイル予防事業 第3回 「月山富田城跡ガイドウォーク」	11/7(日)	24	安来市月山富田城跡の史跡ガイドウォークを実施。
「発掘遺跡見学会」 根雨原土手下タ遺跡見学会	9/4(日)	24	伯耆町根雨原土手下タ遺跡の発掘調査成果の見学会を実施した。
考古学講演会			
第1回 鳥取県の中世城館跡	9/10(土)	16	県内中世城館の発掘調査の成果や近年の研究状況を解説。 会場：米子市文化ホール 講師：大川泰広(鳥取県埋蔵文化財センター)
第2回 西伯耆出土の中世陶磁器	10/15(土)	11	尾高城跡出土の陶磁器を中心として、西伯耆の代表的な陶磁器などについて講演を実施した。 会場：米子市文化ホール 講師：佐伯純也(米子市文化振興課)
第3回 西伯耆の中世城館跡	11/19(土)	20	西伯耆の中世城館の状況を解説。 会場：米子市文化ホール 講師：高橋主幹学芸員
出前講座			
米子城跡ガイド	6/3(金)	12	五千石公民館で「米子城跡ガイド」の出前講座を行った。
古代学習	6/30(木)	27	崎津小学校で「古代学習」の出前講座を行った。
尾高城跡ガイド	3/26(日)	30	備陽史探訪の会に尾高城跡のガイドを行った。
連携事業			
学校連携			
インターンシップ受入	6/29(水) ～ 7/1(金)	3	県立米子南高等学校の生徒を受入て土器の接合などを体験。
教員初任者研修受入	8/25(木)	2	教員の初任者研修を受け入れた。
尚徳小学校古代学習受入	2/22(水)	24	火起こしなどを実施。

事業名	開催・実施期間	参加者数(人)	内 容
地域連携			
上淀白鳳の丘展示館連携事業 企画展「百塚88号墳の発掘調査」	6/30(木) ～ 8/22(月)	398	百塚88号墳の発掘調査の成果を展示。 会場：上淀白鳳の丘展示館
第49回山陰考古学研究集会 「山陰における近代戦争遺跡」	8/27(土) ・ 8/28(日)	60	山陰における近代の戦争遺跡について、その現状と保存活用について討論と現地見学を実施。 会場：米子市文化ホール, 現地
青谷上寺地遺跡フェスティバル	11/13(日)	全体 (1,800) 266	鳥取市の青谷上寺地史跡公園準備室と連携し、「ミニ石包丁づくり」を出店した。 会場：鳥取市青谷町農林漁業者トレーニングセンター
鳥取県内古墳出土人骨調査研究成果報告会	1/21(土)	25	鳥取県内古墳出土の人骨調査を通して、ゲノム配列を核としたヤポネシア人の起源と成立の解明の研究成果の報告 会場：米子市文化ホール 講師：篠田謙一国立科学博物館長ほか
米子市文化財団連携事業 米子市文化財団 カルチャー・フェスティバル2022 ～遊んで学ぼうSDGs～ 「ミニ石包丁をつくろう」	9/24(土)	フェス全体 (1,078) (53)	当財団が管理・受託している各施設が特色のあるワークショップを実施した。 会場：伯耆古代の丘公園おまつり広場
「施設紹介パネル展示」	8/15(月) ～ 9/24(土)	-	会場：米子市児童文化センター他
調査・保管・活用			
調査研究・整理保管	通年	-	寄贈図書・資料、尾高城跡、米子城跡三の丸ほか資料の調査・整理・研究・保管を行った。約2300点
収蔵品貸出	通年	11	収蔵品や写真を古代出雲歴史博物館、荒神谷博物館等へ貸出した。貸出11施設
収蔵品等研究利用	通年	48	大学研究機関、調査研究者等の収蔵品調査・実見に対応した。
図書・報告書貸出	通年	6	研究者・市民への図書等の貸出 21冊6人
施設・設備利用	通年	197	研究会・研修会等での施設・設備利用 5件
情報提供			
埋蔵文化財センターたより発行	年4回	-	調査情報や遺跡の紹介やイベント情報の提供などを行った。
埋蔵文化財センター発刊物	3/31(金)	-	福市考古資料館・埋蔵文化財センターの年報を発刊した。
ホームページ	通年	-	ホームページを更新し、施設イベント情報やセンターたよりを提供した。
鳥取県ミュージアムネットワーク	通年	-	県内博物館のネットワークへ参加し情報の交換を行った。
図書販売等	通年	-	「上淀廃寺の美」、米子城ペーパークラフト等の図書販売を行い、収入の一助とした。
合 計		1,875	()内の人数は除く

収入実績

項目	収入額 (円)	摘要
事業収入	45,500	自主事業資料代
合計	45,500	

米子市埋蔵文化財センターの管理業務の実施に係る収支状況（令和4年度）			
収 入（円）		支 出（円）	
項 目	金 額	項 目	金 額
指定管理料収入	13,421,000	人件費	8,115,750
		館長(1人)	
		学芸員(1人)	
		事務員(2人)	
事業収入	45,500	施設費	3,148,470
		旅費交通費	448
		通信運搬費	153,757
		手数料	17,050
雑収入	56,900	消耗品費	74,158
		修繕費	186,120
		印刷製本費	33,000
		燃料費	18,865
		光熱水料費	865,777
		賃借料	120,372
		保険料	64,160
		租税公課	1,179,100
		委託費	389,400
		車両費	46,263
		施設事業費	331,261
		鑑賞事業	9,857
		教育普及事業	137,483
		情報発信事業	165,000
		財団施設連携事業	18,921
		事務局費	767,000
		収支差額	1,160,919
合 計	13,523,400	合 計	13,523,400